

# 室津港室津地区避難港整備事業

## 事業再評価 説明資料 (要点審議)

平成29年12月5日



国土交通省 四国地方整備局

## (1) 事業の目的・必要性

荒天時に室津港周辺海域を航行する船舶の避難に必要な水域が不足していることから防波堤を整備することにより、避泊水域の確保を図る。

- ① 避泊水域の確保
- ② 背後地域の津波被害軽減

## (2) 事業内容

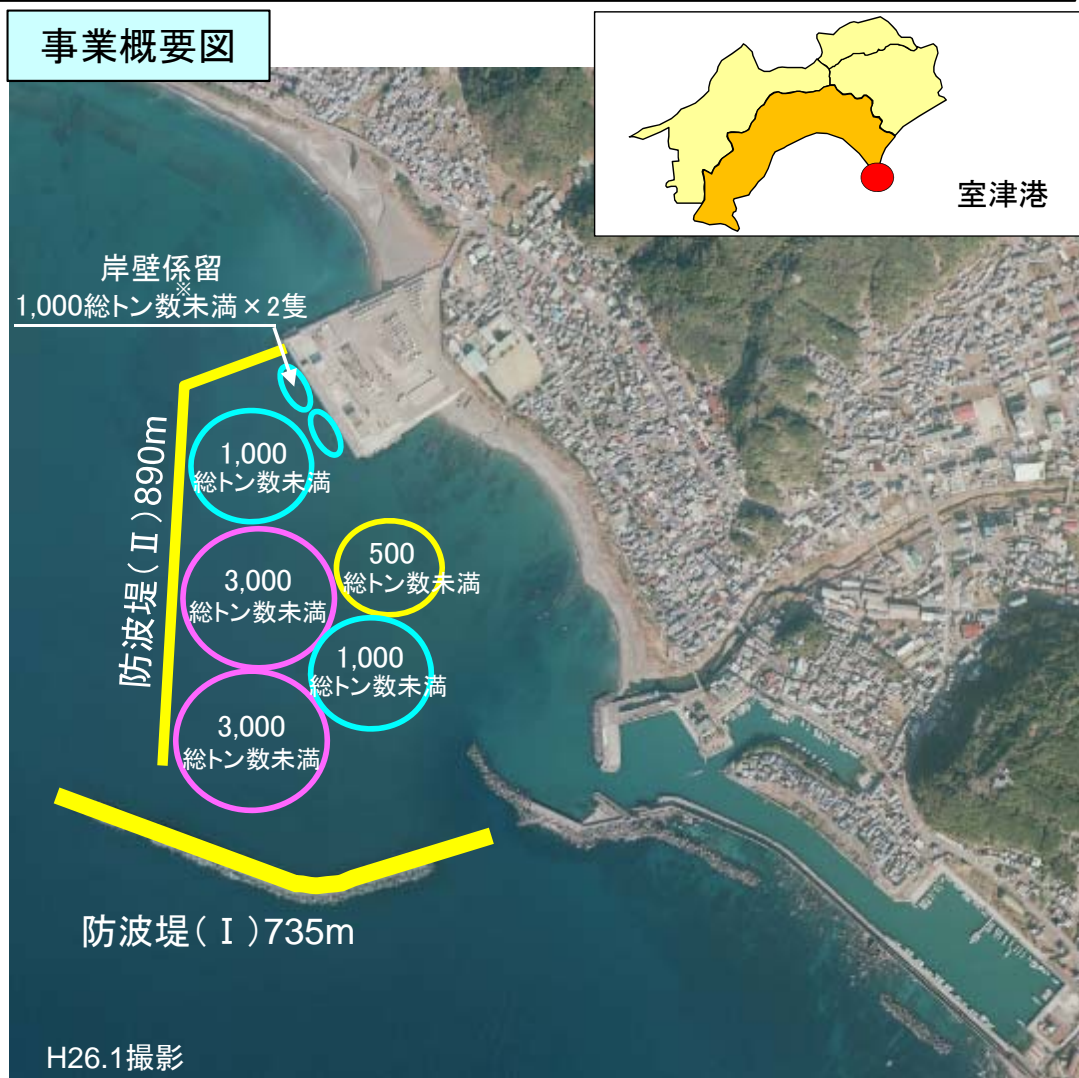
事業期間: S55年度～**H39年度**

事業費: 498億円

構成施設: 防波堤(I)  
防波堤(II)

### 前回評価時(H26)からの変更

項目	前回評価時 (H26)	今回評価時 (H29)
事業費	498億円	498億円
事業期間	S55～H35	S55～ <b>H39</b>



H26.1撮影

※総トン数: 船の大きさを、その船舶の容積で表したものの

## (3) 需要の見込み

- ・海難の減少に関する需要  
避泊可能需要隻数: 7隻 (H26再評価時と変化なし)

## (4) 投資効果

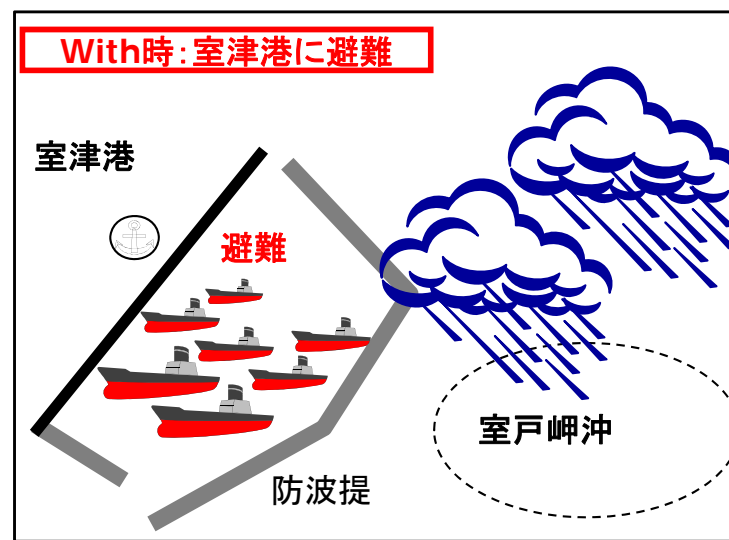
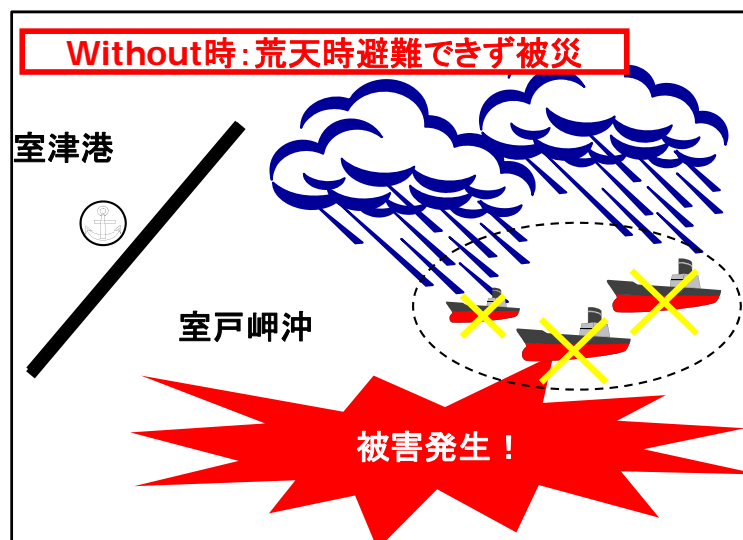
- ・全体事業費: 498億円 (H26再評価時と変化なし)
- ・**便益**※1: **事業全体2,496億円 残事業2,479億円** (H23再評価時: 事業全体2,385億円)
- ・**費用**※2: **事業全体 969億円 残事業 118億円** (H23再評価時: 事業全体764億円)
- ・**費用便益費**: **事業全体2.6 残事業21.0** (H23再評価時: 事業全体3.1 残事業16.0)

※1. 金額は、完成後50年間の便益額として現在価値化した数値。

※2. 基準年における現在価値化した数値。

### 【海難減少による損失の削減】

本プロジェクトの実施により避泊水域が拡大され避泊可能隻数が増加し、土佐湾沖を航行する船舶(100~3,000総トン数未満)が荒天時に安全な避泊を行うことが可能となる。



## (5) 事業の進捗見込み等

- ・ 事業進捗率: 約67% 平成29年度末 (H26再評価時: 約65% 平成26年度末)
- ・ 平成39年度完了に向けて事業を推進中 (H26再評価時: H35年度完了予定)

主な理由: 地元調整に伴う施工計画の見直しのため



## (6) 県知事等の意見

- ・ 事業継続に異議はありません。

## (7) 対応方針 (原案)

- ・ 事業継続